

\*鹿山会は、皆さまの会費を原資に運営されています。活動の充実に向け、会費納入にご理解とご協力をお願いいたします。\*

- (1) 令和8年度第1回役員会報告
- (2) Global Link Singapore 2026 生徒派遣の支援協議  
～つくば Science Edge 2026において「探求志向賞」を受賞、国際大会出場も決定～
- (3) 投稿 まだまだ遠くまで、我がクラス会 出羽龍雄(昭33年卒・3年D組)
- (4) 投稿 「長嶋茂雄 追悼展」を初日に参観 長堀幸朗(昭61年卒)

### (1) 令和8年度第1回役員会を開催しました

- 1. 日時 令和8年4月11日(土)午前10時～
- 2. 場所 佐倉高校地域交流施設
- 3. 概要

評議員会、第76回総会に向けて、令和7年度事業報告、決算・令和8年度事業計画(案)、予算(案)、役員改選について確認し、準備を進めます。

評議員会につきましては、次により開催いたしますが、後日文書によりお知らせいたします。

- 日時 令和8年5月16日(土)午前10時～
- 場所 佐倉高校地域交流施設

○議題 ①第76回鹿山会総会議案について ②各支部・同期会の活動状況

\*令和8年度各支部等評議員について、「ご案内文書」「評議員会出欠・評議員名確認票」をお送りいたしますので、内容ご確認の上、返信用封筒により5月8日(金)までにご返送願います。

\*本年度の鹿山会報第22号から、「支部・同期会だより」のご寄稿は、直筆希望団体を除き原則メールによるものとして、昨年ご案内しております。つきましては「上記評議員名確認票」の会報担当者及びアドレス記載の漏れ落ちがありませんよう、お願いいたします。

◎評議員の皆様に限らず、叙勲、褒章、全国表彰等に該当される会員をご存知の方は、本部事務局までご連絡いただけますようお願いいたします。

※役員会終了後、令和7年度の財務及び事業執行状況について監査を受け、適正に処理されているものと認められました。

※総会のご案内、参加要領等につきましては、後日、ホームページに掲載いたします。

会費・寄附申込書に葉書案内希望をチェックされた方には直接ご案内いたします。



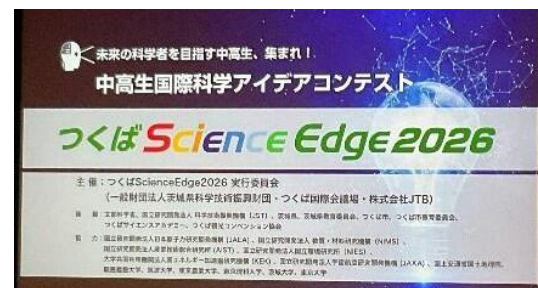
### (2) Global Link Singapore 2026 生徒派遣の支援協議

つくば Science Edge 2026 において母校生徒が「探求志向賞」を受賞  
～初のオーラル部門登壇、国際大会への出場も決定～

令和8年3月27日(金)・28日(土)の2日間、茨城県つくば市のつくば国際会議場にて、「つくば Science Edge 2026 (中高生国際科学アイデアコンテスト)」が開催されました。

母校からは、2年H組(当時)の理数科谷岡 耀さん、水越 健太さん、福田 智也さんによる研究班が、オーラルプレゼンテーション部門に出場しました。

同部門は、日本国内外の107校・477件の応募の中から、一次審査を通過したわずか8チームのみが登壇できる、大変狭き門です。



母校チームは、『ギ酸イオン置換型ペロブスカイトを用いた「土に還る太陽光電池」の開発』をテーマに、独創性と探究性に富んだ研究成果を発表し、文部科学大臣賞に次ぐ「探求志向賞」を受賞しました。

母校がSSHの指定を受けて以来、オーラルプレゼンテーション部門への選出は今回が初めてであり、さらに「探求志向賞」の受賞と、初の快挙となりました。

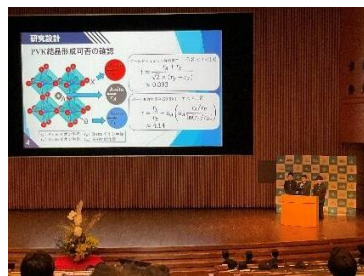
そして、本研究内容および受賞が高く評価されたことから、8月1日(土)～3日(月)にシンガポールで開催される国際コンテスト「Global Link Singapore (GLS)」本選への出場権を獲得しました。アジア地域の中高生が集う本大会への出場も、母校としては初めてとなります。

「Global Link Singapore 2026」は、世界各国の若い研究者が一堂に会し、英語による研究発表をとおして国際的視野と探究力を高めることを目的とした研究発表会です。母校としても、生徒がこれまで培ってきた探究の成果を世界に向けて発信し、将来につながる経験を積ませたいと考えており、また鹿山会としても、佐倉高の名を高める大きな成果でもありますので、学校としてこのチームの海外派遣を実施することが決まりましたら、参加費用の一部を支援することについて学校と協議を進めてまいります。

なによりも、生徒たちの主体的で創造的な研究活動が、このような形で高く評価されたことを、大変うれしく思いますとともに、今後のさらなる活躍を期待しております。

### 「Global Link Singapore (GLS)2026」の概要

- 1.主催 一般社団法人次世代教育ネットワーク機構
- 2.日程 令和8年7月31日(金)～8月4日(火)
- 3.会場 シンガポール 南洋理工大学
- 4.参加生徒 理数科3年谷岡 耀、水越 健太、福田 智也チーム
- 5.テーマ ギ酸イオン置換型ペロブスカイトを用いた「土に還る太陽光電池」の開発
- 6.参加費用 生徒1名につき398,000円
  - ※「探求志向賞」の副賞として、チームに200,000円の補助
- 7.佐倉高教員の引率はありません。



### (3) まだまだ遠くまで、我がクラス会

出羽龍雄(昭33年卒・3年D組)

私共の年代では、王貞治さん・麻生太郎さん、デヴィ婦人が社会の第一線で元気に活躍しておられ、テレビで皆さまの健康なお姿を見て、自分と比較しながら頑張って生活しております。

私共は昭和33年3月卒業の3年D組、担任は高梨先生で、クラス会を「33の会」(サンザンのカイ)と称しております。卒年を「33」をサンザンと読むのですが、サンザンとは「散々」と、そんなイメージを浮かべる方が多いと思います。そうではありますが、しかしながら33とはまた、燦燦だぞと本音を隠しているのでもあります。現在は女子3名・男子6名の計9名のメンバーで、卒業後はそれぞれ歩んできた道は違えども、クラス仲間として共に語り合いながら旧交を温めております。



3月9日 谷養魚場レストランにて



